

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 24 年 2 月 27 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	灯油ボイラからバイオマスボイラへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	社会福祉法人伸康会
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者：日本サーモエナー)
事業実施場所	介護老人保健施設 平成の館
事業の概要	灯油ボイラーから木質バイオマスボイラーへ更新する。木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、ボイラーの燃料を灯油から木質バイオマスへ転換することにより CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度：40tCO2/年 2012 年度：120tCO2/年 (事業実施期間合計 160tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2011 年 11 月 21 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：介護老人保健施設 平成の館 青森県弘前市大字石渡4丁目13番地7</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2012年2月10日</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能なこと 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地における関係者への質問及び関連書類で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数 本事業の投資回収は回収困難であることを確認した。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。また投資回収年数の算出については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本事業者は、エコキュートの導入や風力発電の検討等、環境に配慮した事業活動を積極的に行っている。本事業は、従来であれば事業実施に至ることはないが、地球温暖化防止対策の一環として新エネルギーの普及、森林の有効活用が目的であることを現地関係者へのインタビューにて確認した。又、国内クレジット制度の参加による環境への取組みへのアピール効果も期待できることが、事業実施決定の一因になっている。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、本実施事業所が自主行動計画に参加していないことを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満</p>

	<p>たしていることを確認している。</p> <p>「方法論 001」</p> <p>適用条件 1：本事業は、バイオマスへの燃料転換を行うため、条件 1 を満たす必要はない。</p> <p>適用条件 2：ボイラーの更新を行わなかった場合、既存のボイラーを継続利用できることをヒアリング及び関連書類にて確認している。</p> <p>適用条件 3：更新されたボイラーの温水は自家消費されていることをヒアリング及び現地査察にて確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。リーケージについては、ペレット製造場所からの輸送に伴う CO2 排出量とペレットボイラーの補機電力が特定されるが、排出削減量の 5%を下回ることを確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

#### 4. 特記事項

・本事業で使用する木質ペレットの原木は国産材等であり、製造加工工程にて発生したブレンダー屑（未利用材）を、木質ペレットの原料として使用していることを関係者への質問にて確認した。

以上